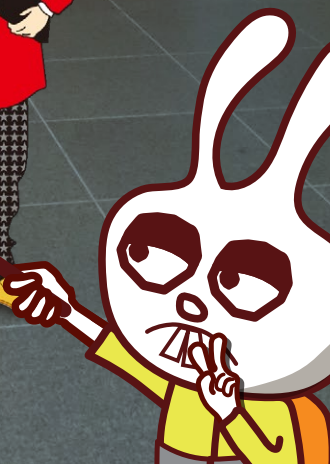


岩手県立図書館
Iwate Prefectural Library

フリーペーパー ペッコ

PECCO

VOL.67 2024.5



発行 岩手県立図書館

かれこれ

もう40年以上 やってます。

岩手県立図書館が内丸にあった頃の、昭和56年から開催しています。展示のタイトルや賞の内容は変化していますが、約40年以上続く、歴史ある展示です。

今年も6/29~7/30の期間、開催予定だよ!

こんな本、展示してます。

毎年7月に開催し、前年6月からの1年間に、新聞・雑誌などで発表された文学賞のうち、当館で所蔵している資料を展示しています。受賞後に出版されたものや、受賞後に翻訳された外国文学など期間以前の受賞作も含めて紹介しています。



展示の準備、こうしてます!

①受賞作品のチェック

毎週刊行される新刊図書情報雑誌を参考に受賞作品をチェックします。

②公式サイトをチェック

主要な賞の発表時期になったら公式サイトをチェックします。

③リストアップ

岩手県立図書館の蔵書から受賞作品をリストアップ

④解説文の作成

国内・国外を合わせ各賞の解説文を作成します。



1つの作品がいろいろな賞を受賞していることもあるし。



オスカー賞で検索すると「アカデミー賞」しか出てこない! なんてことも! 原語のチェックも重要なんだね。

海外の賞は解説作成が大変!

各賞解説は文学賞事典や、国際子ども図書館の「児童文学賞一覧」、公式サイトなどを参考に作成していきます。

参考に
するもの

- 翻訳サイト
- 新刊図書情報雑誌
- 英語版 wikipedia
- 文学賞事典
- 受賞のニュース記事
- 国際子ども図書館の「児童文学賞一覧」
- 各賞公式サイト

海外の賞は事典に載っていないことが多いので、公式サイトを参照!

解説文の誤訳がないよう、複数照らし合わせて確認!



日本語に訳されている賞名は、まず原語をチェック!

いろいろな言語の賞があるので、翻訳サイトも活用!

Oscar's Book Prize → オスカー賞

한국출판문화상 → 韓国出版文化賞

賞の違い 海外&日本

海外
すでに発表されている作品に対して贈られる賞が主な海外の文学賞

日本
公募型の文学賞が多い



今や人気作家となった 袖月裕子さんも『このミステリーがすごい!』大賞出身。



図書館探検記 その32

そめちゃんがゆく!

毎年開催! 文学賞受賞図書展

毎年当館で7月に開催しているミニ展示「文学賞受賞図書展」をご存知ですか? 日本の賞だけでなく、海外の賞にもスポットを当て、毎年たくさんの方にご利用いただいている人気の展示です。そこで今回は、「文学賞受賞図書展」について、さまざまな角度でそめちゃんが紹介! 豆知識を増やして今年の展示も楽しもう!



助手のセキネさん

岩手県ゆかりの 芥川賞・直木賞受賞作家

芥川賞

1935年に芥川龍之介の業績を記念して創設された文学賞のことで、新人作家による純文学の短編~中編作品のなかから選ばれる。

- 沼田 真佑 ▶ 影 裏 (第157回) 受賞当時盛岡市在住
- 若竹 千佐子 ▶ おらおらでひとりいぐも (第158回) 遠野市出身

最近では、くどうれいんさん、小砂川チトさんが芥川賞候補になり話題に!



直木賞

1935年に直木三十五の業績を記念して芥川賞と共に創設された文学賞のことで、創設者も芥川賞と同じ菊池寛氏。

- 森 莊巳池 ▶ 蛾と笹舟/山鳥 (第18回) 盛岡市出身
- 佐藤 得二 ▶ 女のいくさ (第49回) 金ヶ崎町出身
- 三好 京三 ▶ 子育てごっこ (第76回) 奥州市出身
- 常盤 新平 ▶ 遠いアメリカ (第96回) 奥州市出身
- 高橋 克彦 ▶ 緋い記憶 (第106回) 釜石市出身



袖月裕子さんは、第154回と第166回直木賞にノミネート!

令和5年度 文学賞受賞図書展より 岩手県ゆかりの作家のみなさん

- 第65回 群像新人文学賞 『家庭用安心抗夫』 小砂川チト(盛岡市出身)



クリスタル・カイト賞

米国児童図書作家・画家協会の15の部門地域ごとに優れた作品を表彰する児童文学賞。協会員が自分たちの部門地域で前年に出版された作品からお気に入りの作品を選んで投票する。

- リベラトゥール賞 『おらおらでひとりいぐも』 若竹千佐子(遠野市出身)
- クリスタル・カイト賞/パチエルダー賞 柏葉幸子 『掃命寺横丁の夏』 (宮古市生まれ・盛岡市在住)



第8回 児童ペン賞 ノンフィクション賞

- 『君はどんな大人になりたい?』
- 『勉強なんてしたくない君へ』
- 『毎日がつまらない君へ』
- 佐藤慧(盛岡市出身)

リベラトゥール賞

ドイツ語に翻訳されたアジア、アフリカ、ラテンアメリカ、アラブ諸国の女性作家による優れた作品に贈られるドイツの文学賞。

パチエルダー賞

英語に翻訳され、前年にアメリカで出版された児童書を対象とする文学賞。

第32回 Bunkamura ドウマゴ文学賞

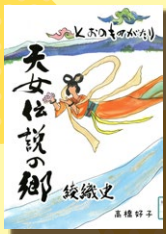
- 『あなたに安全な人』 木村紅美(盛岡市在住)



森の恵みレシピ 春・夏・秋・冬

安部智穂 著／婦人之友社

岩手県の早池峰山麓タイマグラ集落に暮らす安部智穂さんの味わい深い料理本が誕生しました。森の恵みが盛りだくさんの春から秋、そして、雪に覆われる厳しい冬。自然の中で生まれた豊かなレシピから、保存食や発酵食・展開料理・スイーツを紹介。手間をかけ、暮らしを紡ぐ豊かさとお楽しみさがつまった1冊です。
※タイマグラ＝アイヌ語で「森の奥へ続く道」という意味



天女伝説の郷 綾織史 とおものがたり

高橋好子 編著／出版

天女伝説の残る遠野市の綾織（あやおり）には、素晴らしい歴史がある。郷土を知ること、残すことが必要だと感じた高橋好子さんが、地域に住む大正・昭和生まれの高齢者65人にかけて完成させた「綾織史」。貴重な聞き書きも収録されています。著者は遠野市在住です。



虎と十字架 南部藩虎騒動

平谷美樹 著／実業之日本社

盛岡城内に徳川家康から拝領した虎が2頭いたことをご存じですか？史実を基にした平谷美樹による歴史時代ミステリーです。虎の脱走事件、檻の見張り番の不審死、消えた囚人の死体…。若殿・南部重直の乱心か、領内のキリシタンの仕業か、それとも一。密命を受けた徒目付の米内平四郎が藩を揺るがす大騒動の謎に挑む！



建築家・葛西萬司

辰野金吾とともに東京駅をつくった男

佐藤廉一 著／日本地域社会研究所

盛岡市出身の建築家・葛西萬司は、東京駅の建築で知られる辰野金吾の補佐役を務めた人物です。彼にスポットを当てつつ、横浜勉など同時代を生きた盛岡出身の建築家たちの足取りをたどるとともに、岩手銀行赤レンガ館（旧盛岡銀行本店）や、中央公民館別館（旧南部家別邸）など、盛岡に多く遺る歴史的建造物の背景にも迫ります。



賢治と「星」を見る

渡部潤一 著／NHK出版

宮沢賢治の詩や童話には星が登場するものが数多くあり、天体に関する記述はかなり正確です。賢治は当時最新の天文学にどのように触れていたのか。その思想は、詩や童話に描かれた天体にどう反映されているのか。天文を切り口に天文学者が賢治作品を読み解きます。NHK『コズミックフロント』ホームページ掲載を加筆し書籍化したものです。



ふたつの時間、ふたりの自分

袖月裕子 著／文藝春秋

人気作家・袖月裕子ができるまで一。ミステリー界を牽引する岩手県出身の著者が綴る、書く喜びと書き続ける苦悩。そして、東日本大震災での大切な家族との哀別のこと。日常の出来事から創作の裏話まで、2008年のデビューから2023年現在までの作家生活15年の軌跡を追うオリジナル初エッセイ集。温かな言葉で綴られた、笑いも涙あふれる一冊となっています。